

NEWS!

Vol.40-1
No.199
令和3年新春号
編集・発行
松浦機械製作所

謹賀新年



明けましておめでとうございます。

昨年は、春先から新型コロナウイルスの感染が世界中で広がり、その猛威は衰えを知らず未だに振り回され続けていて、正に人々の生活を一変させた年でした。日本では4月に緊急事態宣言が出され、世界各国で営業時間の短縮や外出も制限され経済活動が極端に収縮しました。この影響で世界恐慌並みの未曾有の景気後退となりました。そんな中、大規模な財政・金融政策を背景とした世界株式市場は年末に掛けて活況を呈しており、一早く回復した中国市場や一部の自動車・半導体・医療に係る特定産業を除けば、実体経済とは乖離した状況が続いています。また米ドル為替相場は、コロナの影響で一時的な円安があったものの、全体では円高基調で推移した一年でした。日本では持病の悪化を理由に長期政権を維持していた安倍首相が辞任、菅首相が誕生しました。米国は人種差別問題に揺れる中、接戦を制したバイデン候補の新大統領就任、民主党政権への交代が確定的と

なっております。今後の世界景気の動向は、先行きが中々はっきりしない中でもやはり米国の動きに一番大きく左右されるものと思われまます。

日工会は、年初掲げた年間総受注額を1兆2000億円から期の途中で8500億円に大幅に下方修正し、新型コロナウイルスの影響もあって工作機械業界は大きく落ち込みました。但し、夏以降は徐々に内外需とも受注が回復基調にあります。

そんな環境下でマツウラは、コロナ禍の企業活動のあり方を模索した一年でした。開催予定であった9月の米国シカゴ・IMTS2020、並びに12月の東京・JIMTOF2020を含めたほぼ全ての世界の主要展示会が新型コロナウイルスの影響で中止となり、4月Matsuuraオープンハウスと7月のマツウライノベーションフェアは、ライブ配信にて5軸マシニングセンタ活用術、ハイブリッド金属3Dプリンタ活用セミナーやマツウラのこだわったものづくりの紹介などをオンライン開催し、リモート参加された皆様方から大変好評を得ました。また9月に出荷実績1,700台以上の5軸制御立形マシニングセンタMAM72シリーズのラインナップを更に拡充する変種変量生産・長時間無人運転実現のオールインワンマシンMAM72-52Vを発表、11月のJIMTOF2020 Onlineと同時に開催のマツウラオンライン展示会にて特徴説明を実機実演で行いました。このようにコロナ禍でどのようにビジネススタイルを確立すべきかを見極めております。

新年を迎えるにあたり、2021年はコロナ禍が当たり前となるニューノーマル時代でのサバイバル競争に打ち勝つ体制は如何なるものかゼロベースで再定義し、お客様に選んで頂けるマツウラである為に強力に変革・挑戦して参る所存です。

本年も格別のお引き立てを賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

代表取締役社長 松浦 勝俊

日本のへん

福井 No.197



福井は日本のドマン中「日本のへん福井」第197回目は「小浜よっばらいサバ」の話です。福井県小浜市は、京都に鯖を運ぶ鯖街道があり、古くから「鯖の町」として知られていましたが、乱獲や海洋環境の変化漁獲量は激減していきました。小浜市は、平成28年「鯖の町」復活に向けて、健康にいい「酒かす」を使ってブランド化できないかとの発想から、日本酒の「酒かす」を配合した餌を与えた「小浜

よっばらいサバ」の養殖を始めました。また、「酒かす」は、小浜産の米を使って京都の酒蔵松井酒造が造りました。

「よっばらいサバ」は、ほのかな「酒かす」の香りが美味しい、生臭さがなく、日本酒に合うと好評です。「酒かす」を与えられたサバはうま味が出て、養殖独特の臭みや脂っこさがなく、口の中で甘味がひろがり、とろけるような食感が味わえます。「小浜よっばらいサバ」の一番美味しい食べ方は刺身です。程よい脂の乗り、臭みの無い爽やかな風味が味わえますので、是非ご賞味下さい。

ユーザー No.184 を訪ねて

有限会社稲垣工業所： をモットーに創意工夫し、お客様の

今回のユーザーを訪ねては、東名阪自動車道の長島ICから車で3分の距離にある有限会社稲垣工業所取材いたしました。取材には稲垣孝子代表取締役社長、藤岡衣里取締役役に対応頂きました。

同社は昭和45年に稲垣社長の父である稲垣和三前社長が三重県桑名市長島町にて創業しました。もともと農業を営んでいた和三前社長ですが、親戚の勤めによって産業機械軸受けの製造を始めました。創業当時は3人で会社を立ち上げ、最初は新幹線向けのベアリングを製造しました。ベアリングや自動車関係部品などを手掛けられ、顧客からの信頼が大きくなるとともに工場も3度の増築で大きくなりました。現在では複数台のMC機等を設備しており、特殊部品や試作部品といった高度な部品も希望納期にて納品することに強みを持っています。



▲会社外観

稲垣社長は女性初のマツウラNCスクール受講生

稲垣社長は学校卒業後、3年間栄養士として勤められたのちに同社へ入社しました。

「入社当時は人手が足りなかったため、事務作業や製品の配達なども含めて一通りの仕事をこなしていました」と稲垣社長。

さらにはNCプログラム作成を習得するため、当社が開講していたNCスクール（現マツウラスクール）に女性で初めて参加して頂きました。それからは、現場にも立ってテストカットや測定なども行い、製造現場において技能を身に付けていきました。その後は、生産管理や営業活動、経営全般に関しても担当され、平成14年に社長へ就任されました。

マツウラとの出会い

同社とマツウラとの出会いは昭和50年にNCフライ

ス盤の設備が始まりでした。初めてのNC機を設備した当時、同社の工場設備はラジアルボール盤と直立ボール盤などが5台、測定ではノギスを用いるだけでマイクロメーターは見たことも聞いたこともないという状態でした。和三前社長は松浦機械製作所の名を知らず、地元商社の勧めで購入を決定。創業間もない頃から最新機器を設備していく姿勢が伺えます。

昭和56年に同社のマシニングセンタ1号機として**MC-1000V4**を設備し、昭和63年に5台目のマツウラ立形マシニングセンタとしてピンク色の**RA-2**を設備しました。この機種は稲垣社長が見本市で見たピンク色の機種を気に入り、実際にオーダーされました。それから現在まで16台のマツウラ製マシニングセンタを設備頂いています。そのうち、10台のマシニングセンタがピンク色で明るい工場です。

「**MAM72-35V**や**CUBLEX-35**をメインに使用していますが、使い勝手が良く、精度も良いため、生産に役に立っています。今後も機会があれば松浦機械製作所の機械を再び選びたいと思っています」

「マツウラの機械を選んで良かった点はサービスマンの質にもあります。メンテナンスや修理を依頼するとスマートに対応してくれる姿は頼もしいですね。

GibbsCAMに対するサポートにも満足しています」と稲垣社長。

5軸複合マシニングセンタ**CUBLEX-35**を設備

平成29年11月にマツウラの5軸複合マシニングセンタ**CUBLEX-35**を設備しました。この機種はマシニング+旋削+研削の3機能を1台に集約したマツウラのフラグシップマシンとなります。同社で加工される自動車部品は、従来、旋盤加工機とMC機の2工程を行っていましたが、**CUBLEX-35**を活用することによって2工程



▲稲垣社長(右)と藤岡取締役(左)

試作部品を「高度な技術と短納期」 要望を実現。



▲CUBLEX-35 (平成29年設備)

を1工程に集約。段取り替えなどの時間や手間を省くことができ、工数削減に繋がっています。

難度の高い試作加工も希望納期で納品

20年ほど前から24時間稼働を行い、希望納期に納品する為に様々な工夫が施されています。得意先からの要望を「できない」から「できる」へ変えることができるよう最新鋭の設備と工夫で対応しています。

短納期実現に一役買っているのが、同社に設備されているマツウラの多面パレットシステムで、**PC32**の**MAM72-35V**が2台、**PC2**のマシニングセンタが5台稼働しています。

「パレット番号ですぐにワークを呼び出せることやジグを付けたままで稼働させ続けることができることは非常に便利です。この機能のおかげで少人数でも少量多品種の加工を管理できます」と稲垣社長。

その他に短納期実現のため、発注されてからすぐに生産に取り掛かれるようジグを内製することや、愛知県や岐阜県にアクセスし易い地の利を活かして夜間であっても品物をすぐに届けるといった小回りの利いた



▲鮮やかなピンクの機械が並ぶ工場内

有限会社稲垣工業所 概要

本 社 〒511-1102
三重県桑名市長島町西川879-17
TEL 0594-42-0410 FAX 0594-42-3636

役 員 代表取締役社長 稲垣 孝子

設 立 昭和45年12月25日

従 業 員 12名

事 業 内 容 自動車部品の試作品及びIT機器部品加工、航空機用精密部品加工



サービスを展開しています。

今後の展望としては、新規品開拓にも積極的に取り組んでいくとのことで、モータースポーツ関連などの新しい分野にも挑戦されています。農業から一念発起して金属部品加工業を立ち上げた創業当時のアグレッシブさは現在も健在のようです。

鮮やかなピンク色の機械がずらりと並ぶ光景は圧巻でした。機械には注意事項や手順を記した紙が貼ってあり、細かな配慮を感じ取れました。取材中にも終始配慮くださり、このような心遣いが同社のモノづくりにも活きていると感じる取材でありました。

インタビュー風景と工場風景の動画は、記載のQRコードを読み取り、ご視聴頂くことができます。また、当社ホームページでも公開中です。ぜひご覧ください。



JIMTOF2020 Online



世界3大工作機械見本市の一つであるJIMTOF2020（日本国際工作機械見本市）がコロナ禍の影響で、11月16日（月）～27日（金）の12日間、Webサイト上で開催されました。世界9カ国・地域から394社（国内370社、海外24社）が出展しました。

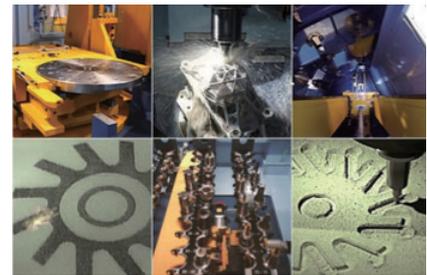
「JIMTOF2020 Online」は、最先端の工作機械やその関連機器・技術が世界中から集結し、高度な情報交換の場として活用できるオンライン展示会となりました。動画配信や資料掲載を通じ、新製品・新技術が紹介され、来場者はそれらの最新情報に、時間や場所の制約なくアクセスすることが出来ました。各社の展示サイトは、5つのテーマを閲覧できる共通仕様が取られました。また、主催者による専門性の高いセミナーや、学生向けセミナー等も開催されました。

◆ マツウラボースの紹介 ◆

テーマ：「自動化・無人化 未来を想像/創造するイノベーション」

みどころ： 安心・簡単5軸機**MX-330 PC10**、長時間無人運転対応5軸機**MAM72-52V PC15**と究極の工程集約5軸**CUBLEX-35**は、使い易さ、無人運転に対応する拡張性を装備。また、世界初のハイブリッド金属3Dプリンタ**LUMEX Avance-25**は、今までにない新しいモノづくりを実現。CAMシステム**GibbsCAM V13**など、マツウラが提案するイノベーションは、更なる生産性向上が必要な生産現場で活躍できると確信しております。

各項目にあるQRコードにアクセスすれば紹介映像がご覧になれます。



MAM72-52V PC15



本製品は、1991年以来、世界の様々な産業に導入され、累計出荷1700台以上の実績を持つ5軸制御マシニングセンタ**MAM72**シリーズの小型、中型ワークを対象とした最新モデル。従来機に比べ最大工作物寸法を拡大した上で、性能を徹底的に見直し、生産性・作業性を高めたことで、より高いお客様ニーズを満たしています。



MX-330 PC10



本製品は、「はじめてでも安心・簡単な5軸機」をキーワードに、良好な操作性・高い加工能力・コストパフォーマンスを有した**MX**シリーズ3機種中、小型ワークを対象としたモデル。省スペース&リーズナブルプライスで長時間無人運転可能な点が、市場ニーズにマッチしており、当社のベストセラーモデルとなっています。



CUBLEX-35



本製品は、1991年以来、累計出荷1700台以上の実績を持つ5軸制御マシニングセンタ **MAM72** シリーズの **MAM72-35V** をベースに旋削機能を付加した5軸複合マシニングセンタ。多品種少量生産・長時間無人運転を得意とし、付加された旋削機能により、工程集約の適応範囲が大きく拡がり、高精度加工と生産性向上を実現します。



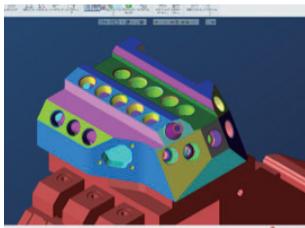
LUMEX Avance-25



本製品は、積層した金属粉末をレーザー照射で焼結する「金属光造形」、エンドミルによる「高速・高精度切削」、これらを繰り返しワンマシン・ワンプロセスで造形を行います。このハイブリッド技術により、従来の3D金属プリンタでは得られなかった、マシニングセンタと同等の高い加工精度、面粗度を実現しています。



GibbsCAM V13



GibbsCAMはCNCプログラミングに関するあらゆるニーズを叶えられる現場志向のCAMシステムです。“Powerfully Simple. Simply Powerful.” のポリシーのもと開発されたインターフェースは、驚くほど簡単な操作性で加工プログラムを迅速に作成できる柔軟性を備えた設計となっているため、オペレータは生産性を最大限に高めることができます。



◆◆ Matsuraオンライン展示会 ◆◆

JIMTOF2020 Onlineと同時期にマツウラのホームページ上でオンライン展示会を開催しました。一部の映像を紹介しましたので、QRコードにアクセスしてご覧ください。

Booth01 新機種 MAM72-52V の紹介

NEW! 9/15リリースの新機種をご紹介します！

[詳しく見る](#)



▲MAM72-52Vの紹介

Booth03 LUMEX 活用術セミナー

モノづくりのイノベーションがここに

[詳しく見る](#)



▲LUMEX CAMの紹介

Booth02 5軸活用セミナー（入門編）

5軸を活用するヒントをご紹介します

[詳しく見る](#)



▲マツウラ提案の働き方改革

Booth04 マツウラのモノづくり

「想像」・「創造」そして「革新」へ

[詳しく見る](#)



▲摺り合わせ

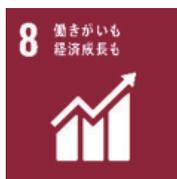
マツウラのSDGsへの取り組み



株式会社松浦機械製作所は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

マツウラは、グローバル企業として、“ひと 地球 そしてテクノロジー”を掲げ、「持続可能な優れた品質の開発」をめざし日々活動しています。

国連で採択された2030年までの持続可能な目標SDGs（Sustainable Development Goals）にマツウラも取り組んでいます。当社の取り組みについて一部紹介致します。



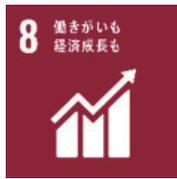
高機能工作機械の開発・製造・販売

マツウラならではの独創的なマシンがお客様の**生産性向上**や**生産革新**に貢献します。



品質保証体制

当社ではマザーマシンをつくる会社の使命として、部品から組み立て、検査、完成まで**すべてにおいてミクロン単位にこだわったモノづくり**をしています。1996年より品質工学「タグチメソッド」への**取り組みを全社的に始め、お客様の立場に立ったモノづくり**や製品開発の研究に取り組んでいます。



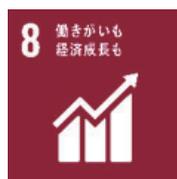
学生へモノづくりを知ってもらう取り組み

小学生から大学生まで幅広い学生の工場見学を積極的に受け入れ、**モノづくりの楽しさや日本の技術力**を発信しています。また、高校生・大学生のインターンシップを毎年実施し、**職業理解の機会を提供**しています。



環境に配慮した取り組み

マツウラの環境活動として、**廃品回収協力、近隣住民との意見交換会、自主的社会奉仕作業、緑地美化運動、環境指導協力、環境測定**などを定期的に行っています。



地元サッカーチーム“福井ユナイテッドFC”への支援

Jリーグ昇格を目指す地元サッカーチーム福井ユナイテッドへのスポンサー支援を2014年から実施。福井ユナイテッドは**地域の子供たちへサッカー教室を開講**するなど、サッカーを通じた地域貢献にも力を入れています。また、当社では**チームに所属する選手や引退した選手を社員として雇用**しています。

詳細はマツウラ公式ホームページにて記載しております

県内学生の工場見学受け入れ

10月から12月にかけて県内中学校及び高等学校の7校に本社工場を見学頂きました。当社から最も近い森田中学校は「もりたシャルソン2020」と題して中学生が地元の魅力を発見すべく自分たちで内容を企画し、その訪問先の1つとしてマツウラが選ばれました。

見学した学生からは「地元福井の企業から世界に向けて輸出していることを誇らしく感じた」、「今まで以上に勉強を頑張るって将来は世界初のモノづくりをしたい」と嬉しい感想を頂きました。



▲金津中学校



▲森田中学校

シングルorダブル



社長 松浦 勝俊

旧年中は、色々想定外のことだらけでした。景気の循環サイクルからある程度工作機械需要が減速することは予想されていましたが、新型コロナウイルスの影響は多大で、この人間社会に招かれざる侵入者により世界は大混乱に陥りました。あの著名なビル・ゲイツ氏は、有名な話として、コロナ禍を事前に想定していました。2015年のTED（各界の優れた方が壇上でスピーチを行う番組）で「子供の頃に私達が一番恐れていた災害は核戦争でしたが、今は1000万人以上の人々が10年単位で無くなる災害があるとすれば、それは戦争ではなく感染性の高いウイルスである可能性がある。」と述べています。一代で帝国を築くような経営者は、色々な角度からの情報をしっかりと整理し的確に予想しているものだと感嘆した次第です。

そして、彼はこう続けています。「戦争抑止の為に人類は、多大なコストを掛けてきた。それに比べて疫病の抑制インフラの可能性については、

トレンド

深く議論がなされていないため一旦発生すると人類は非常に脆いだろう。」正に言い当てています。大規模な自然災害が起きた際、その兆候を示す動物の事前行動が後付けでニュースになりますが、同氏のエピソードは、そういう類とは一線を隔するものだと思います。

「あらゆる事態を想定したリスクマネジメントを行う」…聞こえは良いが、非常にコストの掛かる問題であり、経営者にとっては至難の業です。このコロナ禍を機に社会・生活様式の変化を皆が経験し意識も随分変わりました。そして2021年は、それが定着していく年になりそうです。

18世紀の産業革命から20世紀の世界戦争。その後のイデオロギー対立と雪解けから、21世紀はソーシャルディスタンスをキープしながら超情報化社会へ突入。今世紀の本物のトレンドがおぼろげに見えてきたような気になっています。

ただ、有効な情報を収集するだけでも大変なのに、ここから更に重要になりそうなものを選択し迅速に対応していくなんて本当に高度過ぎて…。体力と気力を削られる時代になってきたなあとつくづく感じる今日この頃です。

お知らせ

1 令和3年度 松浦機械製作所暦

1	2	3	4
日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
5	6	7	8
日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
9	10	11	12
日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	日月火水木金土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

(■は休日)

2 令和3年度 マツウラスクール開催日程

開催予定月	日程	スクール内容
1月	12日(火)～15日(金)	基礎コース
2月	16日(火)～18日(木)	5軸加工コース
3月	9日(火)～11日(木)	高速・高精度コース
4月	6日(火)～8日(木)	5軸加工コース
5月	11日(火)～14日(金)	マクロコース
6月	8日(火)～10日(木)	5軸加工コース
7月	6日(火)～9日(金)	基礎コース
8月	17日(火)～19日(木)	5軸加工コース
9月	7日(火)～9日(木)	高速・高精度コース
10月	5日(火)～7日(木)	5軸加工コース
11月	9日(火)～12日(金)	マクロコース
12月	7日(火)～9日(木)	5軸加工コース

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、1月～4月の開催形式はオンライン開催とします。5月以降の開催形式については、後日連絡いたします。

※お申し込みは、各営業所へお願いします。

※予告なく開催日や内容の変更もありますので、お申し込みの際にはご確認ください。

3 福井ユナイテッドFCはJFL(日本フットボールリーグ)昇格ならず

マツウラがユニフォームスポンサーである北信越フットボールリーグ1部で活動する福井ユナイテッドFCは、JFL昇格を目指して全国地域チャンピオンズリーグ2020に挑みました。しかし、1次ラウンドグループCを1勝2分でグループ2位の結果で予選リーグ敗退となり、JFL昇格は出来ませんでした。本年も北信越フットボールリーグ1部での活動となりますので応援をお願い致します。



▲円陣を組む選手たち



▲試合前の集合写真

写真提供:福井ユナイテッド

令和2年秋号の5ページの記事に誤りがありました。

誤) 日本大学

正) 日本工業大学

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

本号の書き終わり

* 日本工作機械工業会から11月度の受注状況が発表されました。11月度の工作機械受注額は882.2億円と前月比2か月ぶり増加(7.3%増)、前年同月比26ヶ月ぶり増加(8.0%増)となりました。受注額の内訳として内需が前月比減少す

る一方で外需は増加しており、外需が総受注を牽引しました。内需は265.9億円と前年同月比24か月連続減少で11月としては2012年以来8年ぶりの300億円割れとなりました。外需は616.3億円と16ヶ月ぶりの600億円となりました。中国や北米においてコロナ禍で鈍った設備投資が戻りつつあり

ます。

* 2020年を振り返ると新型コロナウイルスによって人びとの生活様式だけではなく、ビジネスの在り方まで大きく変容しました。当社も時代の流れに合わせてお客様のご期待に沿えるよう愚直に進進してまいります。

経営企画室 清水 継太